安の居留民憤激

萱生事件重大化す

成行注目
さる

居留民大會を開催當局激勵か

事件の突發したことに對し邦曹事件解決せざるに今復讐生

常任委員廿名の間には夫々事れた、即ち同日召集に應じた

時**總會開催**

件關係の情報交換並に居留民 の立場からの對處策を協議し た結果、事件そのものゝ性質 上一應は居留民の全般的意思 に訴へる必要ありとし、臨時 に訴へる必要ありとし、臨時 である。

洲國士官に 四名

びオホック事件による被害に 對する救済に関しては救恤審

救濟金交付額

する事となったものである 倒れも滿洲鬼で渡滿した一行は 船船涌洲鬼で渡滿した一行は

左翼教授等の

搜索さる

機關新聞

兵曹事件の公判が漸く其解れ人の視聴を登動せしめた中心

1 向を内外に開明する事になる 特別れず其成行は各方面か り注視されてゐる

にあへ人果夜決山海

居留民の意を徴

國内情勢並に軍中央部の

最近に

から相常突込んだ議論す一大原因をなすもの、「東察政権の淨化善導」、「東京政権の浄化善導」で、「東京政権の浄化・高をなった。」

一 財の對日態度は依然として歐神國關係を最も害するもので ・ 配職酸しつ、ある排日運動は ・ に配酸しつ、ある排日運動は ・ であるため、明創性を ・ のあり、且つ最近全國

十二日午後三時二日間に亘る。 東大會議を終了、一同は打揃 でとの間に懇談を送げる事にな との間に懇談を送げる事にな との間に懇談を送げる事にな

側面的援助をなすし 將は此結果を

でイギリス政府は地中海の 壁直しを考慮中だがホーア海 相は十一日午後サマンプトン でイギリス政府は最短期間に がでイギリス政府は最短期間に がでイギリス政府は最短期間に

大の如く述べた マの如く述べた イギリス政府は可及的速か に特鋭な新艦隊を編成し凡 有る狀態の下に於て如何な る地壁へも移動し且必要な 任務を遂行し得る様萬全を 行りである

省の ザッ

的勝利を得たかの親があるの 四南問題は既に中央側が政治 知する事頗る困難であるが、 知する事頗る困難であるが、

ひ、日支闘係 際に闡明し西南派の抗日主張 日の二中全會 りと國民政府の外交方針を明 図迦1 外交部 の調整こそ國家百年の大計な

を一蹴した、 豊群氏の報告内 容文の通りである

ずにせ時 然至ずに れら、至

ール業界に於る大日本ビール 円騰する事になつた 即ちビ 加ちど

南京政府の對日態度につき緊眼目である西南問題北支問題出支問題

國交の調整にあり

八計は

重要產業統制法

先づピー

一銭鍋界に於る日本製銭をト

而して此會議の結果は

張外交部長二中全會で大演說

横暴を阻 「変質性格質

M止せんとする歌句で 本呼ばれたトラストの 株等を厳重に取締り、

定により生産者くい統制法

第一日を終り、第二日十二

對支問題を討議

全支陸軍武官會議終る

渡第二部長十四日發歸任

歳既に四十二歳、しかも未常エドワード八世陛下は御

に控へ全國民は擧げて皇后 ヤン殿下の第三皇女アレクめ晴れの戴冠式を一年の後 二皇弟ハラルド・クリスチだ御獨身に亘らせられるた 皇帝クリスチャン十世の第 高い御方でエドワード八世の社交界に才色兼備の評判がは芳紀將に廿二歳、歐洲

く輝く姫君の中デンマータ が歐洲宮廷界に綺維星の如 陛下の册立を夢望してゐる 戴冠式を御前に 羽の矢が立てられてゐる、サントリース。ルイズ姫が 英帝獨身御清

は當のエドワード八世御心の御配偶として誠に申分が

お皇帝が御城野を擧げ が皇帝側近の人々は戦紀式

エヂ 邦品を歡

【東京國通】日埃協商で現地 に於て活躍した笠間公使は十 一日午後九時東京驛濱歸京し たが車中左の如く語つた

笠間公使東京着語る

圓七八 百 十 十

生存被告

三百十八

冷、省令公布

, 航路統制法施行期日 勅 令

公布された

が、省令は十一日航路統制法施行

共和平には和平の限度ありたの限度を超えれば犠牲のこの限度を超えれば犠牲のために基いて、最近外交部及びれた、自分は外交部及びれた、自分は外交部及びれた、自分は外交部及びれた、自分は水の動場係は外交を以來日支兩國關係は外交部及びれた、自分は不足力、問難すべきを手段によって調整所の動係は外交が表別であり、

全國民擧げて皇后册立要望

婚生活に轉向遊ばされるか

持如何で、果して陛下が年

十一日外務省辭

副領事(錦州) 注 海

▲関田少佐 十二日午前九時 本中澤規矩夫氏(大倉商事) 十二日午前ハルビンへ 大会商事)

本大草初太郎氏(満洲モータース)同率天へ 本大草初太郎氏(土木建築背負業)同本京國都ホテル 本宮城正一氏(営口商業銀行常務職事)同警日へ 全宮城正一氏(営口商業銀行常務職事)同営日へ 本武田雄忠氏(海運業)同大 連へ 本、田野氏(衛布輸出業) 一中塚榮蔵氏(綿布輸出業) 一中塚榮蔵氏(綿布輸出業) 一中塚榮蔵氏(高第)同本天へ 一中塚榮蔵氏(高第)同本天へ 一中塚榮蔵氏(高第)同本天へ 一中塚榮蔵氏(高第)同本天へ

滿

英海相

が言明

ざる模様である確證を握り

得

艦

成

は

新京

電話三―二八二八〇

るオレンブルグ田身のコザツ報によれぼソ聯は新聲省に於

致行流

東京

を保障する旨布告したといふ に農牧其他の生業を營む権利私有財産の所有を許可し自由 ク兵を對し六数の令を設布し

中華出

尼港オ

水

ツク

壹圓盤

◆栗野俊一氏(滿袋東役)同大 ◆神田勇氏、脇和建物會社員) 十一日來京都ホテル 十一日來京都ホテル

新京教安瀬三九 院長医博士四田秀雄 院長医博士四田秀雄 贝安病院 性 完 院 隨 意 科科

と共に同人等が利用し るを検撃、嚴重取調を に、同助教授山田盛太 元明大教授小林奥正氏 元明大教授小林奥正氏 が表表が、 の下に元東大教授不野 の下に元東大教授不野 の下に元東大教授不野

つた

道は殆ど

L 阿五回 m l

和洋百貨 赤三 笠 日本町 3

六二 九=洋 三七 晉打

で我々一同深く感謝申しています就きましては尙一層御引立を賜ましたのでバーボツテヤンと改 稱し聞 店致しました所連日超滿員今般室內改 裝のため永々休業中一 御座いましたが漸くホールも改炎暑の折柄皆樣方には益々御健康に遊す御事と徇喜び申上げます 禮旁々御願申上げます ロ超満員の盛況 けます 弊居儀

しています就きましては尚一層御引立を賜り度く 番

員手不足に 朝日通(領事館西隣) 319 電話 (2) 三三七二 13

付女給大募集

でき観光の冥福を祈りその精 霊を慰めようとするお弦が来 日間に亘る盂関盆管の諸行事 寺院で施行せられるが本地方 事務所では十六日午前十時よ 寺では十三日より十六日まで四 研天の際は太子堂)で施餓鬼 特では十三日より十五日まで 独音を施行本瞬町日蓮宗經王 寺では十三日より十五日まで 母夜入時から法要。設数あり

▲西本願寺、十三日敷から十一 「展明大正寺其他名号書」

質況を全満に放送

宗長春寺でも十三日より十六 日迄豊は楊經に各信者の宅へ 廻り夜七時中から寺で施健鬼 供※十六日夜は境内で精靈途 を致し有志の盆鯛りがある。

へ、
ら十六日まで毎日登標二時から
な
高野山金剛寺・十三日から十六日まで毎夜七時から入時まで法要、十五日は事變職疫勇・十六日
日午後七時から西公園瀬月池・一の精鰕流し、同夜は公園の精

酷熱の下香煙空

北原部隊慰靈祭

部隊長の祭文肺腑をえぐり 多列者に緊張の**涙**

設建都國

る大同公園で

0

申込場所新京中央通り三年齢十五歳より廿歳迄十名年齢十五歳より廿歳迄十名

濟

察食堂

滿錢新京綜合事務所食堂(驛前新樂)

女給

募集

生二名を惨殺した加害者は意 とが出來ず、容易に判明しな とが出來ず、容易に判明しな

事た四時半からホッケー 競技場で を大きな関づて落す事となった。 本となった一日 と 決定 本となった 1 競技第四日の八月二日 中後 をなった 2 がら過日日の四日 中後 がら過日 スイスに 2 がら過日 スイスに 2 がら過日 スイス 1 競技場で をなった 2 がら過日 スイスに 2 がら過日 なった 2 がらい 2

年齢三十才迄女學校卒業者にして市内に確實なる保證人を要す

事

務

員

募

營編

御希望の方は履歴書携行本人楽談されたし

通

京通信社

ビ菓化 社 新京中央 本子銀商 満

泰洋行

雅語三—六九二七番

あすから盂蘭盆會

中内の各句

十六日夜は西公園で精靈送り

客馬車の改善

◆盂闢盆會 十五日まで ・ 一年前九時三十分離京 ・ 一年前九時三十分離京 ・ 一年前七時登校 ・ 一年前七時登校 ・ 一年前七時登校

各座席には國防色のシ

日覆も目下考案中

大・三〇 舞台劇

一、 設備

今晩の主なる演奏放送

一、場所 慈光

慈光路清和街角

衛生でもあるのでこの全

車に取付けることに

女子留學生殺し

犯人は満人

明大生?

、補鍼總裁(代理武器長、五十嵐鄉軍聯

果京、新京 兩都の主催で 計畫

サ 長落島園友緒山時瀬湊津千岩佐辻相 ツ 船合巣野澤方下原島 島野崎藤 長

梅服藤洪揚本中岸 於長尾磯 佐川 井檜 新 京部澤 村間村川本田 根崎 藤野 崎 垣 京 山

右の者今般都合に依り七月十日限り解 昭和十一年七月十日 野麻日本橋通三一 新麻日本橋通三一

來長洋

服店

しはかねて糖尿病を思い ら食餌癌生の

町本社會議室で開催するが、一局長會議は十六日から三日一局長會議は十六日から三日 局長會議 十名増員)の たが離京は午

制改正の地方に及ぼし現は左の如し 在京特殊會社員は全員満洲帝 という 大が議議新京地方事務所にて たが議議新京地方事務所にて は十三日午後二時から鐵道出

夏の夜らし と家を飛び出し、その 氣を呼んだ新京康、 センス家出 センスなこと

一日一夜を西公園

拓大辯論部

ダイヴイング等あり 泳法、橋本指導員の

校講堂で催される本社後援の終つて午後七時から室町小學大田身渚の敷迎艦護會に出席 講演會に随む 野町日の出食堂で催される拓

協和會地事分會 設立協議

中銀-外交部(東權) 對ハルピン 四〇民政部

軟式庭球

電景職盟並びに充州関盟 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

二一四

三丁月廿六 新京永樂町

薬街

女事務員募集本人面談の事

首名タイプ

午前、午後、

歌路局、外交部―中 の雅定である、國道 を形成は午後一時中 の雅定である、國道 を呼中 一九〇賞樂部 八〇國道局 七一實業部 (源王。題后)

中女

二日午前七時二十分着列車で 東京、滿蒙旅館に投宿。柏田 東京、滿蒙旅館に投宿。柏田 東内で挨拶に來訛した。一行 電際附氏及び學生一行は電域 ・一行

科長齋藤和一教授は一行と十 ある拓大柏田忠一教授、同章 ある拓大柏田忠一教授、同章

同好會二

民政部二

午前挨拶に來社

されたが午前中の成績左の如京敷島高等女學校々庭で開始を一日は十二日午前九時から新全新家排球選手權リーグ騒第

指導員の模範泳法に! の敏速化の敏速化の 二、電話、電信サービスの政

アシス

開

第素 (紙報等所は別名、二二)は率天省生れ率天女子師範學校卒業後昭和九年子師範學校卒業後昭和九年科専門部に入學すると共に留學、十年四月明大女子部商學、十年四月明大女子部商學、十年四月明大女子部商學、十年四月時であると共に日本に留 リーグ第二日 排球選手權

000

◎ ダンサ

總

場

に餘興敷

一介に 館 里 男 和 はここから!!!

00

京味萬斛帝都一京

凉し

V

亦

0

六日

辯護士

民刑

士小四の一般法律事務

無け月月日日 天明 よのののの 日 進の入出入出 類の





四 疊半二食付 一ヶ月三十三圓 吉東領事館西側

一四六九館

滿洲電信電話株」高價買入 東三條通り四十二番地游織病院東側 松尾盛男

新京豐樂路一三七 員員 若 干 名

御用の御方は 電話の三次番で格安にて御相談に應じます

貸店舗 貸事務所

加麗教候條爾今際店

一秀

来明一八九〇ダイ ヤ 街) 電話 (3) 五六 0= 八九 四五

夜間(入學隨時)

淵文タイピスト 生徒募集

一十二日 (年後三時より七時まで) 十二日 (年後三時より七時まで) 11 日 (年後三時より七時まで) 11 日 (年後三時より七時まで) 11 日 (年後三時より七時まで) 11 日 (年後三時より七時まで)

今夜の樂しみ

(花井多梅濱町川岸の世界衣醉月情

かの段)

初のありとは知らでは、袖にからとせんどうせうとはならぬ今客の古

東京

年一ヴ アー 超大 愛 ミ 努匹身の調力夫を前は十に中土 作ル はた百しの ジム購 かい 獨難のき 嘆き の漠は、 Diamond Jim 實石と 漫 畵 篇數 五十錢

传により、やず誰かと思ひまり、どうぞ致して峰吉を、呼り、どうぞ致して峰吉を、呼出す工夫と思案のうち、車か出す工夫と思案のうち、車から、

お元

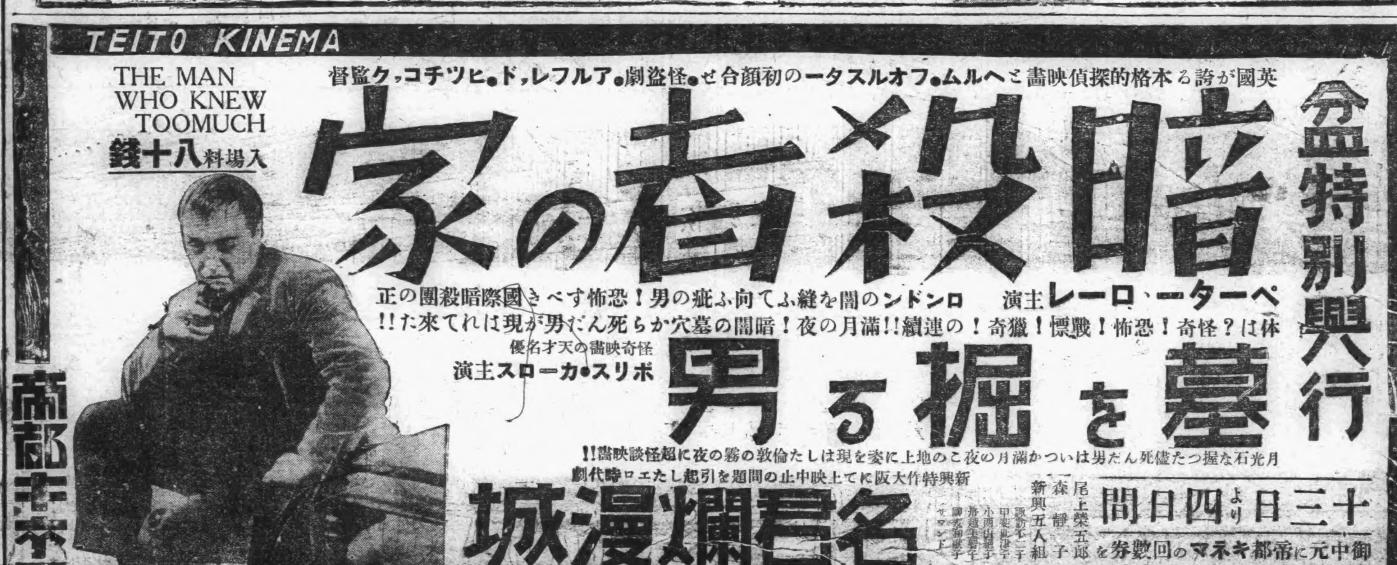
豊樂劇場

目科業營

日五十月 五 書



告御用命は電話SINIOO番



の折柄に、以前の車夫は立戻り つくヤお内儀様 にお待遠で こさいましたらら、お宅へ全 いましたら、もう十二時を過ぎたれたら、もう十二時を過ぎたれたら、もう十二時を過ぎたれたら、もう十二時を過ぎたれたら、もう十二時を過ぎたれば程なくかへりませう、云ひ は不審顔 「ハテ今日に限つて は不審顔「ハテ今日に限つて は不審顔「ハテ今日に限つて は不審顔「ハテ今日に限つて は不審顔「ハテラ日に限つて は不審顔」、とはいへ是非とも峰

と、 このはいろいろに化けるも のだなアおれも元は歴とした 登乏人の御子息様だが満いと きから堅氣が嫌ひ、氣隆氣量 のが切られいが今ではマアこ の類であり上つたが最から、 をおれが手に入れ否ではマアこ の類交をだましこみ花井の家 をおれが手に入れ否ではマアこ が一つの思案どうかアノ醉月 の親父をだましこみ花井の家 をおれが手に入れ否でも應で をおれが手に入れ否でも應で とまでなり上つたが最から先 とまでなり上つたが最から先 とまでなり上ったが最から先 とまでなり上ったが最から先 とまでなり上ったが最から先 とまでなり上ったが最から先 とまでなり上ったが最から先 をおれが手に入れ否でも應で をおれが手に入れ否でも の表と のまた。 のが知られるではマアこ

